

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 2 月 1 日作成

研究課題名	腹腔鏡下直腸癌術後の縫合不全予防に対する ICG 蛍光法による血流評価に関する後ろ向き観察研究		
研究の対象	2014 年 4 月 1 日より 2018 年 3 月 31 日までに直腸癌に対して腹腔鏡下低位前方切除術を当院で施行した患者さん		
研究目的・方法	直腸癌に対する腹腔鏡下直腸低位前方切除後の縫合不全予防としてのインドシアニングリーン（ICG）を用いた ICG 蛍光法による血流評価の有用性を、ICG 蛍光法を実施しない対象群と比較して、ICG 蛍光による血流評価が縫合不全の予防に有用であることを後ろ向きに検討する。		
研究期間	2018 年 4 月 12 日 ~ 2023 年 3 月 31 日		
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、BMI、病期（ステージ）、ICG 蛍光法の実施の有無、術後縫合不全の有無、再発や生存に関する予後情報、など		
外部への試料・情報の提供	なし		
外部からの試料・情報の取得と保管	各施設でカルテから得られた診療情報は匿名化の上、記録媒体で当院へ提供を受ける。記録媒体は鍵のかかる場所に保管し、厳重に管理する。診療情報の保管期間は研究が終了してから 5 年間あるいは研究結果の最終報告から 3 年間のいずれか遅い日までとする		
研究組織	共同研究機関	施設研究責任者	
	横須賀共済病院 外科	舛井秀宣	
	横浜市立大学附属病院 消化器・肝移植外科	石部敦士	
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>			
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター （研究責任者）渡邊 純</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表）（代表） FAX：045-261-9492</p>			
<p><b>研究代表者：</b> 横須賀共済病院 外科 舛井 秀宣</p>			